



時事評論家 増田俊男

第三次戦争は何故起きるのか？！

戦争に奇襲も偶発もない。

戦争は争う国同士または対立するグループ同士が長きに渡り準備し、国民の世論形成がなされてから決められた日に起きる。

しかし歴史の教科書には「ハマスが突然イスラエルを大規模攻撃した」とか「日本が真珠湾を奇襲した」などと書かれる。

戦争で犠牲になるのは国民で、利益を得るのは軍事産業である。

領土をめぐる争い、資源確保競争、国際資金争奪戦等々の戦争を正当化すると同時に戦争志向の世論形成を行うのは軍事産業の大株主である独占資本がスポンサーをしている主要シンクタンクである。

最近著名な評論家や安全保障専門家たちが第三次世界大戦の可能性について述べ始めた。

私を除けば第三次大戦論者のほとんどは俗にいうネオコンである。

現在の米務省、国防総省、ホワイトハウス大統領補佐官から CIA 長官に至るまで右翼ネオコンで占められている。

バイデンは左翼だがネオコンに従わざるを得なくなっている。

バイデンが好むと好まざるにかかわらずバイデン政権は戦争準備政権になりつつある。

同じことはロシアにも中国にも言える。

欧州では右翼政権が増え続けている。

西側陣営、東側陣営共に戦争体制に移行しつつある。

日本は、安倍政権時代は親中派の二階俊博が万年幹事長になって中国との関係を深めながら、一方で日米同盟関係を強化する「二足の草鞋」の両面外交であった。

しかし岸田政権になって米国一辺倒に変わった。

世界が東西に分断され第三次世界大戦に向かっている時日本が米中双方に片足をを入れることは許されないのである。

朝鮮半島で第三次世界大戦は勃発する！

今日のウクライナ戦争、イスラエル・ハマス戦争、そして台湾海峡緊張からどのような過程で朝鮮戦争へ向かうのか。

小冊子 Vol.137 を教科書として「インターネット目からウロコの増田塾」で、第三次大戦に向かう動きを「手に取るように、分かり易く解説する」。

「小冊子」Vol.137 を片手に毎日増田塾で勉強されることを強くお勧めする。

好評先行受付中！

増田俊男の小冊子 Vol.137 『第三次世界大戦必至！』

現在増田俊男の小冊子 Vol. 137 は好評先行受付中です。

内容は、*何故世界大戦が起きるのか？ *それは、、、だから！ *では市場はどうなる？

*それは、こうなる！ *我々日本人はどうしたらいいのか？ *それは、こうしたらいい！

です。価格は、1冊 4,800 円(税・送料別)。

詳しいご案内、お申込みについてはマスタ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX: 03-3956-1313、HP: <http://chokugen.com/>) まで。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、事前にマスタ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX: 03-3956-1313) までお知らせ下さい。